

### 33 織物の防水加工に関する研究 (第2報)

#### —市販防水織物の物理的諸性質について—

共立女子大 青木美津枝  
蓮見 幸子

1 織物の防水加工の必要性はいうまでもなく、従来知見されている防水剤とそれが織物に及ぼす防水効果に関する研究は、既に本研究第1報に詳細に説明されたところであるが、本研究においては、新たに現在市販されている防水加工織物の数例をとりあげて、防水効果とそれに伴う織物の物理的諸性質を検討し、防水織物に関する実用的性状を知り得たらと本研究をとりあげた。

2 試料は合計 10 種の商品を対象とした。

一般に織物は着用後数回の洗濯を行うを普通とする。それ故洗濯に伴う防水効果を試験した。先ず洗濯方法を

2種類にして1回から10回位の繰返し迄、その性能を追究した。測定項目は次の8種をえらんだ。厚さ、スプレ試験、水圧試験、接触角、柔軟度、防皺度、摩擦、強力である。

3 一口に云えば防水剤は洗濯により脱落するが、脱落後織物の洗濯回数が増に従って変形される為に再び見掛けの防水性が増大するが低下の程度は防水剤により明らかに差異がある。又洗濯の方法によっても脱落度が異なるが最近迄脱落せずに残るものは存在するので、それが防水剤により一定でなく、防水加工の持続性の差異があらわれてくる。以上2, 3の性質を知り得た。